

かわしま

No.123

平成30年10月25日



中山小学校運動会（9月22日）

9月定例会 2～5

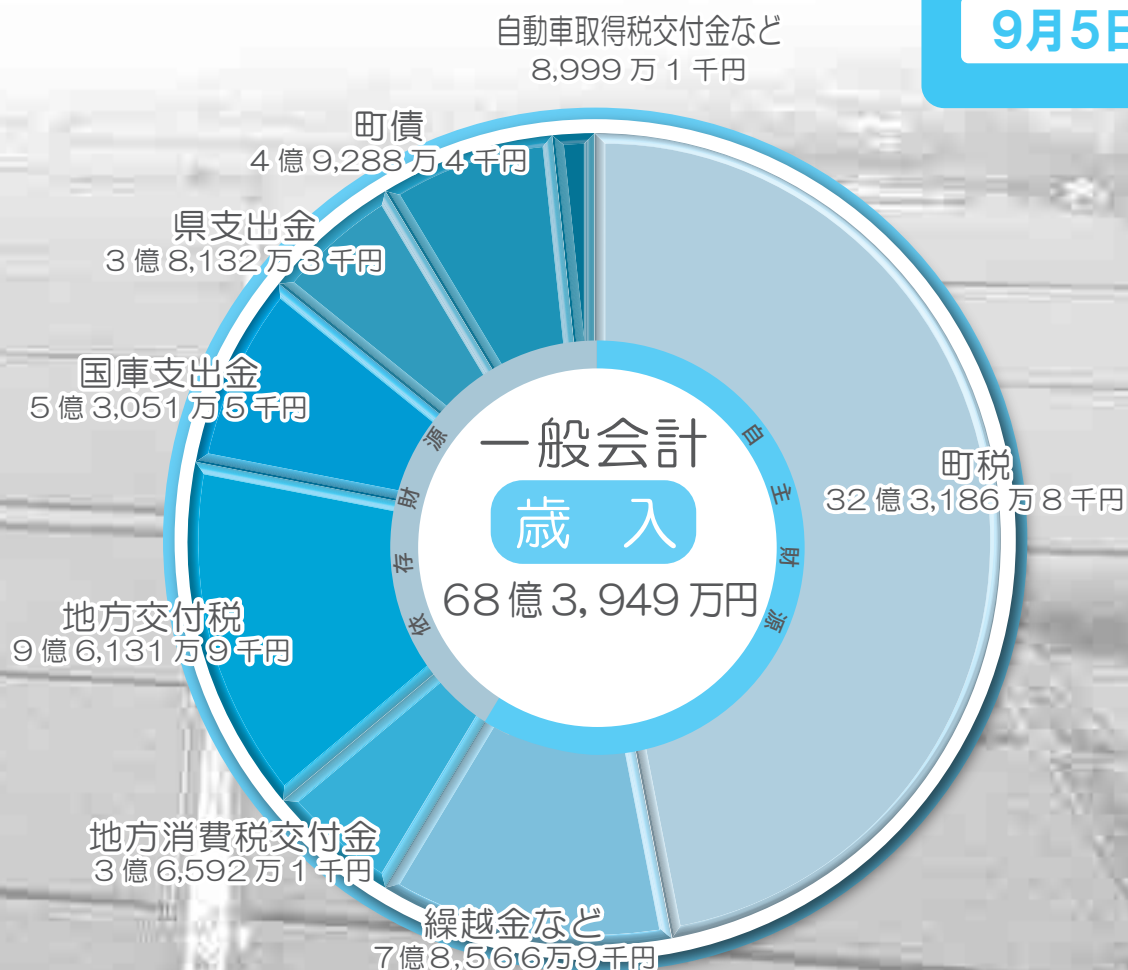
委員会の動き 6～7 9月定例会審議結果 8 一般質問 町の考えを問う 9～14

財政を審査



9月 定例会

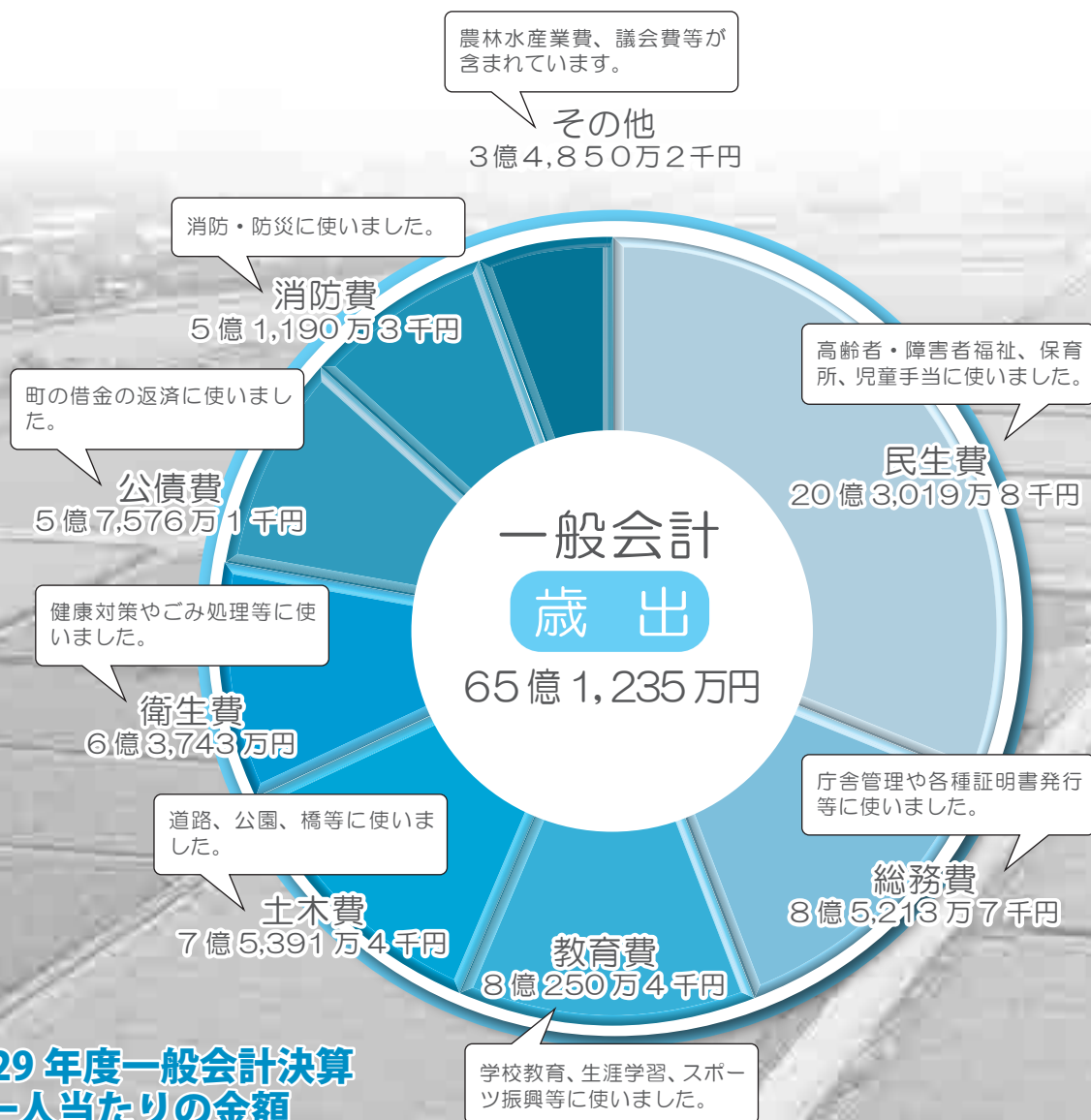
9月5日～19日



	会 計 名	歳入決算額	歳出決算額	差 引 残 額
特別会計	国民健康保険 特会 別計	31億830万6千円	28億7,205万8千円	2億3,624万8千円
	学校給食費 特会 別計	7,695万7千円	7,664万5千円	31万2千円
	下水道事業 特会 別計	3億7,898万2千円	3億7,203万5千円	694万7千円
	介護保険 特会 別計	16億6,074万1千円	16億859万1千円	5,215万 円
	後期高齢者医療 特会 別計	1億8,990万9千円	1億8,746万2千円	244万7千円
企業会計	水道事業 収益の収支	4億9,430万7千円	4億4,774万5千円	4,656万2千円
	水 会 資本の収支	2,113万1千円	1億8,647万 円	▲1億6,533万9千円

健全な財政運営の永続を

未来ある町づくりのために



平成29年度一般会計決算 町民一人当たりの金額



子育て支援センター事業

子育て支援を行う施設を開設し、乳幼児や児童を対象とした事業を実施しました。



子育てに切れ目のない支援

自主防災組織の充実事業

自主防災組織の充実を図るため、資機材整備や訓練活動に対する補助金を交付し、訓練等支援のため防災アドバイザーを派遣します。



平成の森公園

観光地化へ



平成の森公園の管理

綺麗な公園環境を保つために、公園施設内の清掃・除草・樹木の剪定・芝生の維持管理等の作業を委託しています。



川島町の魅力発信と認知度向上



地域資源魅力創出事業

地方創生推進交付金を活用し、観光資源を活用した地域ブランドを構築するとともに、PR動画を作成しました。



KJブランド PR動画



英語教育の充実

小学校5・6年生の英語教科化及び3・4年生の外国語活動の導入を見据え、計画的な外国語教育を行いました。また、中学生のさらなる英語学力向上を図るため、ALTの常駐化と英語検定を全額負担した事業です。

伝統芸能を活かした魅力ある町づくり

伝統芸能保存事業への補助

町に継承されてきた郷土の伝統芸能を保存し、その技術等を受け継ぐ継承者の育成に要する費用の一部助成を行っています。



総務経済建設常任委員会

たばこ税の改正

問 今回10月1日に改正されるたばこ税の増税により、町の収入はどの程度増えると予想されるか。

答 300万円程度増収となる見込みです。

農地中間管理機構

問 農地中間管理機構業務委託金の内訳は。

答 埼玉県農林公社から一部事務の委託を受けているので、その事務処理や相談業務、現地の調整を行う職員の人件費等です。

アライグマ個体分析

問 アライグマ個体分析調査業務の内容について伺います。

答 捕獲したアライグマの体重・体長・年齢・性別・病気の有無等を調査しております。なお、29年度のアライグマの捕獲頭数は146頭です。

圏央道へのアクセスがより快適に



総務経済建設常任委員会では、整備途中の町道3557号線を視察してきました。
この町道3557号線は圏央道へのアクセス道路として整備が進められており、完成すれば流通時間の短縮や周辺環境の改善が図られます。

公園の花菖蒲

問 平成の森公園の花菖蒲の管理が不十分である。町の花なので、予算をかけて行き届いた管理をしてほしい。

答 花菖蒲については、黄色い花が増えてきているので、肥料等の改善を考えています。

防災対策

問 防災対策費の需用費と施設修繕費の内訳は。

答 避難所の看板を外国の方にもわかるように変更する修繕で32万円支出し、防災無線設備屋外拡声機の電池交換修繕で79万円支出しています。

井戸の再活用

問 平沼の浄水場の井戸を復活させることで、県水の受水量を減らせないか。

答 平沼の浄水場の井戸を再活用することは設備投資に多額な費用もかかることから、考えておりません。

文教厚生常任委員会

放課後児童クラブ

問 つばさ南放課後児童クラブ（仮称）の建設工事追加の内容と支援員の募集は。

答 雨水桷、浸透トレンチ設置や地盤改良等の費用です。支援員の募集と運営方法や事業の実施方法はNPO法人かわじま学童クラブの分割を含め検討します。

いじめ問題

問 いじめ問題対策連絡協議会の内容は。

答 年2回開催し、東松山警察、さいたま地方法務局等行政機関や、学校教育関係者、PTA各種団体等から取り組み状況と意見交換を行い情報を共有しています。

健康教室

問 健康教室等自己負担金の内容は。

答 筋力アップトレーニング教室の自主グループの歩数データ管理料です。参加者は新規教室を終了した方を対象に、月曜日コースが週1回、土曜日コースが月2回で自主的に活動しています。

きれいになりました中山小学校トイレ



文教厚生常任委員会では、今年の夏休み中に大規模な改修がされた中山小学校のトイレを視察してきました。
この改修で中山小学校のトイレが洋式化され、使いやすくなりました。
トイレの入り口にはかわいい壁画もあり、子ども達も喜んでいました。

公民館

問 公民館事業あり方検討会の内容は。

答 4回会議を開催し、統合小学校4地区の地区体育祭についてが主な内容でした。今後は、小学校の跡地利用と調整を図りながら検討していきたいと考えています。

伝統芸能

問 伝統芸能保存事業費とフロアカーリングとは。

答 角泉、伊草、飯島、白井沼、下廓の獅子舞や囃子連の衣装代等です。フロアカーリングは、室内でできるニュースポーツで、氷上のカーリングが体育館でできます。各地区で教室を行う予定です。

国民健康保険

問 短期保険証の内容は。

答 要領に合わせて保険証を発行します。過年度分の滞納がある方で毎年滞納額が減少の方は6か月、相談や定期納付のない方は、3か月又は1か月となります。

各議員の賛否

※「○」は賛成、「×」は反対を表しています。また、「―」は議長もしくは退席のため表決しておりません。

上 程 さ れ た 議 案	結 果	議 員 氏 名													
		松 原 謙 司	稲 村 美 代 子	小 峯 松 治	遠 山 尚	新 井 悦 子	栗 岩 輝 治	爲 水 順 二	飯 野 徹 也	菊 地 敏 昭	石 川 征 郎	道 祖 土 証	山 田 敏 夫	小 高 春 雄	森 田 敏 男
条例の一部改正															
川島町税条例等の一部を改正する条例を定めることについて	可 決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３０年度会計補正予算															
平成３０年度川島町一般会計補正予算（第２号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３０年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３０年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３０年度川島町介護保険特別会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成３０年度川島町水道事業会計補正予算（第１号）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度決算認定															
平成２９年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度川島町学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平成２９年度川島町水道事業会計決算認定について	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
平和都市宣言															
川島町平和都市宣言について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
債権の放棄															
債権の放棄について	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
町道路線の廃止															
町道路線の廃止について（町道４３９７号線）	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
工事請負契約の締結															
工事請負契約の締結について（飯島３号雨水幹線工事（１８－１工区））	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
名誉市民の推挙															
名誉市民の推挙について（高田康男氏）	同 意	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	—
教育委員会教育長の任命															
教育委員会教育長の任命について（中村正宏氏 再任）	同 意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

（※議員名は、議席順となっております。）

町の考えを問う

町政一般質問要旨 9月14日、18日、19日に一般質問が行われました。

※一般質問の内容は各質問議員によって編集されています。

稲村 美代子 議員	1 水害対策について 2 川島版ネウボラについて
栗岩 輝治 議員	1 非核・平和都市宣言について 2 埼玉中部資源循環組合について 3 町内に於ける交通事故対策について
新井 悦子 議員	1 防災対策について 2 野良猫対策について 3 不育症について
道祖士 証 議員	1 中学校の運動部活動について 2 学校給食について
菊地 敏昭 議員	1 農業政策について 2 改元システムの改修について 3 所有者不明土地について
松原 謙司 議員	1 農地に対する多面的機能支払い交付金事業について 2 PTA活動の負担軽減について
飯野 徹也 議員	1 「中央通り」の整備と維持管理について 2 町の空き家問題について 3 飯島地内出丸用水の整備工事について
遠山 尚 議員	1 ごみ減量の取り組み
小峯 松治 議員	1 水道事業について 2 町の総合振興計画について
石川 征郎 議員	1 道路新設工事について 2 LRTについて
為水 順二 議員	1 水害時の対策について 2 地域資源魅力創出事業について 3 飯島町政4年間の実績と課題について

問 平成27年度の議会で「地震・洪水ハザードマップ」の改訂について質問しましたが、その後の経過について伺います。

答 平成27年12月に国交省からハザードマップの改良推進を受け、平成28年に改訂の予定でしたが、平成30年度に市野川浸水シミュレーションが公表されるとのことで、それを待って平成31年度に改訂を予定しています。

問 町民から、「水害説明会」を開催してほしいという要望が出ていますが、町の考えは。

答 新しいハザードマップを作成後、説明会を開催したいと考えています。

問 住民が一時的に避難できる企業として、グローバル・ロジスティック・プロパティーズとオータがあります。もっと増やしてほしいという要望があります。町の考えは。

答 いざという時の垂直避難の場所として、今後、開発される企業に依頼していきます。

問 町民から、ライフジャケット

問 ハザードマップの改訂は。

答

平成31年度に作成の予定
です。



くずりゅうだいごんげん
九頭龍大権現（水の神様・下伊草）

問 平和都市宣言の具体的な取組みは。

答 「平和」の言葉が心に刻まれる事業の実施。

問 川島町平和都市宣言が採択されたが、具体化として、他市町村の例を参考に、予算化と行事を行っていただきたい。

答 まだ具体的なものは決定していないが、他市町村を参考に、町民の皆様の心の中に「平和」という言葉が刻みこまれるような事業を実施して行きたい。

問 吉見町に計画中の「新ごみ処理場建設計画」について7月に開催された「公聴会」で24人の公述人全員が、建設の白紙撤回を主張されていました。副管理者としての見解を伺います。

答 公聴会での意見は、吉見町都市計画審議会で検討されるものと考えています。

問 隣接する芝沼地域の住民は33世帯中11世帯しか建設に同意していない。改めて説明会を開催すべきだと考えるが。

答 芝沼地域の説明会は、考えていません。

問 9月6日、地元住民が建設差止めを求める訴訟を起こした。副管理者としての見解を伺います。



栗 岩 輝 治
く り い っ ぽ ん

問 この件は、中部資源循環組合に関わる事なので、答弁は差し控えていただきます。

問 セブンイレブン（中山）とウエルシア（上伊草）地点の信号機設置、改善について、埼玉県警との話では、「歩行者と車の安全確保が条件」とのことですが、町の見解を伺います。

答 東松山警察署との協議では歩道の設置だけでは信号機の設置は困難とのこと。



新ごみ焼却場（約5万㎡）建設計画

問 災害時におけるマイタイムラインの作成は。

答 個人や自主防災組織で作成できるよう考える。

問 防災対策でのタイムラインや個別計画策定は。液体ミルクと簡易トイレの備蓄は。

答 風水害は、いつ起こるかかわからない地震と違い予測ができるので避難準備や避難勧告、避難指示を発令します。避難行動要支援者名簿は毎年更新し、現在684名が情報提供しています。液体ミルクは、災害時に役立つと期待されていますが、今後は被災者数の1・5日分を備蓄する予定です。

問 自らの災害時に動く行動回路が大切なマイタイムラインの作成は。

答 避難所までの道のりや、誰といて逃げるとかタイミングがわかるマイタイムライン作成を考えていきます。

問 ペットが家族の一員で飼われているが飼育放棄、遺棄等問題がある。県は殺処分ゼロを掲げているが野良猫の苦情はあるか。また、TNR活動（※）はどのように考えるか。



新 井 悦 子
あ り い え っ こ

答 3年間で6件あります。核家族が進む中、ペットも家族の一員ですが、迷惑行為が起きているのも事実です。町も、どのような対応ができるか研究します。

問 不育症の認識と周知啓発は。不育症はあまり知られていないという課題があります。原因や治療方法など知識や相談窓口を町ホームページに掲載し、周知啓発をしています。



逃げ遅れゼロを目指して

※TNR活動は、Trap（捕獲）Neuter（不妊手術）Return（猫を元の位置に戻す）の頭文字をとったもので、苦情や殺処分の減少に寄与する活動です。

- 問** 町は学校給食費特別会計を採用しているが、近隣の状況は。
- 答** 特別会計を採用し給食費を管理しているのは郡内で川島のみです。
- 問** 一般会計の給食費に統一する考えは。
- 答** 一般会計、特別会計それぞれのメリット、デメリットを十分検証し、町長部局と協議し最善の方法を考えてまいります。
- 問** 県内自治体の中で学校給食費補助を行っている市町村は。
- 答** 無償化にしているのは滑川町と小鹿野町で、近隣では坂戸市・小川町・吉見町が特定の児童生徒に一部補助をし、東秩父村では、28年度から月額3,000円の補助をしています。
- 問** 給食費の値上げの考えは。
- 答** 献立を工夫しながら値上げをしない方向で考えています。
- 問** 米飯の週3回を増やす考えは。
- 答** 地産地消の関係からも増やす方向で検討します。
- 問** 部活動の練習や大会の考え方は。

問 給食費の値上げの考えは。

答

値上げをしない考えています。



より多くの米飯給食を

- 答** は。平日は80分程度の練習時間で、休日は土日のどちらか1日は休みとし、土日に練習を行う場合は原則半日とし、大会の参加は中学校体育連盟主催の大会には原則参加し、その他の大会は、生徒に過度な負担がかからないよう把握し、各顧問の判断で参加不参加を決めています。
- 問** 部活動の熱中症対策は。
- 答** 練習時間の短縮や小まめな水分補給対策等を行い、生徒にも熱中症予防法を指導し、安全に活動を行っています。

- 問** 町内の米麦の大型農家の経営面積と経営者数は。
- 答** 10ha以上を耕作する町内農業者は16戸で、約530haを耕作し町内農地の約35%を占めます。
- 問** 農地中間管理機構の役割は。
- 答** 農地を貸したい方から、借りたい方へ農地の中間的受け皿で分散錯綜した農地を整理し農業経営の効率を上げ、耕作放棄地の発生防止を担っています。機構を通じての賃貸面積は、米作が約204ha、麦作が約170haです。賃貸料は、田で㎡あたり6円、畑で㎡あたり1円です。
- 問** 町の10aあたりの地目「田・畑」のH30年度の税額は。
- 答** 田1415円、畑798円で3年間毎に見直しています。
- 問** 町の堤内農地の耕地整理は何年頃に実施されたのか。
- 答** 旧6ヶ村が一組合を組織し、明治40年に工事着工し、大正8年に完了、大正12年に組合解散、10aの区画のまま現在に至っています。
- 問** 町の農業政策は。
- 答** 魅力ある農業にすることです。



どう守る川島町の田園風景

- 問** は非効率的な大きさです。
- 答** 安藤川の両側の道路管理は。安藤川の管理道路となっていて県土で維持管理しています。
- 問** 国道254号下り線の落合橋北詰交差点から上伊草交差点までの西側は市街化調整区域ですか。
- 答** 市街化調整区域です。
- 問** 改元システム改修について50程ある情報システム改修作業は、10月から調整し来年3月末には検証を終え、新元号が発表され次第、テストを行い5月1日以降、新元号で業務を行うよう対応します。

問 多面的機能支払い交付金事業の推進は。

答 必要に応じて説明会を行い推進したい。

問 多面的機能支払い交付金事業の概要は。

答 国が1/2、県が1/4、市町村が1/4の費用負担を行い、草刈りや水路の泥上げ、水路や農道の軽微な補修、植栽による景観形成に対して支援します。実施する場合は活動組織を設立する必要があります。

問 当町における事業の現状は。

答 当町の対象農地1886haのうち、3組織が81・99haで取り組んでいます。

問 普及に向けた今後の展開は。

答 4月に農家組合長会議に県の担当者招き、事業の推進をしました。必要に応じて県の担当者とともに説明会を行います。

問 小中学校のPTA活動に対して、どのような所感をお持ちですか。

答 学校教育を支えているのは教職員の力だけではなく、家庭や地域の力が大きいと考えています。子どもたちのために保護者が参加しやすい環境づくりを進めていき、地域の実情に即した



松原 謙司
まつばら けんじ

問 PTA活動を期待しています。小中学校の資源回収における保護者の負担感、必要性などどのようにお考えか伺います。

答 資源回収実施後に反省点や改善点をあげ、保護者が参加しやすい、よりよい活動になるように取り組んでいます。回収の報奨金で活動や学校用具の充実に図られ、最終的には子どもたちに還元されます。今後も保護者の負担軽減を考慮しながら実施していただきたいと考えています。



地域住民の皆さんで景観形成

問 空き家解消に向けた仕組みづくりを。

答 組織的に検討をしていく。

(中央通りの整備と維持管理について)

問 今後の管理、修繕計画は。大型車等の交通規制は。

答 つばさ南小学校の周辺を主に修繕を行い、道路点検等により、舗装が傷んでいる箇所があれば、随時修繕する予定です。交通規制については、東松山警察署と連携して沿線の状況等も考慮しながら慎重に検討します。

また、20トン以上の大型車両の通行は町の同意が必要ですので、可能であれば県道を利用していたくようにお願いしていきます。

(空き家問題について)

問 現状や取組みの実情、今後の課題や問題解消へ取り組む仕組みづくりについて伺います。

答 平成30年8月時点で245戸が空き家状態になっております。町では平成24年10月から空き家バンク制度を運用しており、現在までで成約実績は7件で、空き家バンク制度を通じて空



飯野 徹也
いino てるや

き家を探している方は27名います。

今後の課題は、いかに空き家物件を登録していただくかにあると考えており、多くの方が登録、利用していただけるよう制度の周知とともに、空き家問題の解消に向けて組織的に取り組んでいきます。

(飯島地内出入丸用水の整備工事について)

問 近隣への内容説明はいつどのように行われたか。

答 平成20年10月に地元区長、地元地権者等へ計画平面図や標準断面図をもとに整備計画を説明しました。



空き家問題の解消を望む

町民一人一人がごみの減量化に協力を。

答

ごみの排出量県内ワースト上位だが。

問

町民の皆様への取り組みですが、ごみ処理の現状を知ってもらうため、田園戦士かわじマンを主人公にしたフォトストーリーを立ての特集「ごみ減量化大作戦」を組みました。また、啓発チラシやポスターの撮影に協力してもらっていた田園戦士かわじマンを「川島町ごみすっきり応援団」

【問】川島町では、平成26年度における一人一日当たりの、ごみ排出量が1101gとなり、排出量の多い順から数えて、3番目に多いという結果となり、その後も上位に位置していると聞きます。町では昨年の7月からごみ減量化対策推進室を作り、ごみの減量化に向けて本格的に取り組みを始めたとのことですが、これまでの減量化に係る取り組みについて伺います。

【答】ごみ減量化に係る取り組みとして、町では、職員が自ら実践することを第一に考え、町長をはじめとする全職員を対象にした川島町職員ごみ減量化説明会を実施いたしました。



町内のごみ収集場所

に任命し、横断幕や懸垂幕を製作して啓発活動を強化しております。地区住民に対しては、ごみの分別や減量化について説明会を開催し、事業所に対しては、職員が訪問し、ごみの種別や排出方法などを確認するとともに、分別排出の協力についてお願いをしました。

優先順位をつけ、計画的に布設替えして行く。

答

水道の民地を利用した引込管の改修は。

問

【問】公道への布設替えする場合、経費はどの位かかるのか。また町はこの件について、どのように考えているのか。

【答】民地を利用した引き込み管は、町内に110カ所ほど把握しており、その距離は約8・5kmあります。

【問】川島町の水道は、比企郡内では小川町に次ぐ2番目の早さで、昭和37年7月に供用開始されました。しかしながら、早期進捗と費用効果等から、本管から個人宅への引き込み管を公道ではなく民地を利用したものもあり、トラクターで耕運時の破損、また民地の方が建物を建てる場合の切り回し等、問題が生じています。このような事はあるのか。



安心・安全な水の供給を目指して

【問】布設替え工事をする場合、町内の水道業者を優先的に指名し、事業経営と技術の存続を図っていただきたいと思います。優先的に対応して参ります。

【答】小規模登録業者も含め、優先的に対応して参ります。

【問】第5次総合振興計画が平成32年3月で終了するが、今後の計画策定の予定は。

【答】策定義務が廃止されましたが、町の最上位計画として目指す姿を明確にする事は不可欠と認識しており、第6次総合振興計画の策定を考えています。

問

LRT(ライトレールトランジット)
次世代型路面電車を川島に。

答

大きな夢の実現に向けて
LRTを。

問 日高・川島線。昨年の大規模交通量調査以後の進捗状況について伺います。

答 今年度は権利者の確認調査を予定し、次年度は、交通量調査を踏まえた解析、概略設計を順次実施の予定です。

問 町道3557号線の整備計画について伺います。

答 桜の広場から八幡団地の町道2・29号線までの整備につきましては、三井精機工業(株)と工事や通行による振動の影響について協議を進めています。

いづれに致しましても、有事の際に町民の安全、安心の為の避難道路として期待できる道だと考えておりますので早期完成に向けて努力して参ります。

問 LRT(ライトレールトランジット)次世代型路面電車システムを、我が町へ導入の件について伺います。

答 鉄道のない当町では、公共交通の整備が永年の課題でもあり、夢となっています。

町においてもLRTは、町外への



石川 征郎
いし かわ ゆく お

移動の利便性を向上させる可能性を持つものと考えてます。町の地域公共交通網形成計画でも、新しい交通手段の確保を実施政策として位置付けています。既存の道路網、近隣自治体の交通政策や、町の中長期の財政計画を考慮しながら、研究を進めて参ります。



次世代型路面電車のLRT

問

次期町長選挙、立候補の考えは。

答

町民皆様の審判を
いただきたい。

(飯島町政4年の実績と課題)

問 平成27年1月の町長選挙において、町長となりましたが、町長が担ってきた課題と実績、今後どのような町づくりが必要と考えているかを伺います。

答 立候補の際、公約として掲げた29項目の内、23について達成ができ、残りについても進捗検討を進めています。

10・20年先を思ったとき、圏央道ICの周辺整備などの課題は、一定の目安をつけたかと思っております。任期僅かですが、職員と一丸で取組んで参ります。

問 次期町長選挙への立候補について想いをお伺いします。

答 「未来の川島町を創る」礎を固めたいと決意し、これまでの仕事ぶりを含め、町民皆様の審判を頂く所存です。

(水害時の対策)

問 水害時の避難で自主防災組織に担っていただく役割は。

答 情報収集報告や安否確認、要支援者避難支援・誘導等です。

問 避難所計画策定にあたり区



為 水 順二
ため みず じゅん じ

長の負担軽減が必要と思うが。各地域で状況が違いため、自主防災組織で計画の作成が重要で、町は作成の支援をします。(地域資源魅力創出事業)

問 KJブランド認証品で、どのようなまちのPRを考えているか。

答 町内外のイベントや浅草商業施設での出展を行います。

問 参加事業者に受益のある仕組みづくりも重要と考えるが。

答 事業者がメリットを感じる支援を行いたいと考えます。



飯島町政、職員と一丸で邁進中

川越地区消防 組合議会

菊地 敏昭
飯野 徹也
小峯 松治

平成30年川越地区消防組合議会第2回臨時会が7月3日に開催されました。

上程された議案は、議案第6号、議案第7号、議案第8号、議案第9号の4件です。議案第6号は「水槽付消防ポンプ自動車の取得について」です。こちらは、川越西消防署名細分署及び川島消防署に配備されているポンプ自動車が著しく老朽化しているため、更新するものです。

議案第7号は「消防ポンプ自動車の取得について」です。こちらは、川越西消防署に配備されております消防ポンプ自動車が著しく老朽化しているため更新するものです。

議案第8号は「高規格救急自動車の取得について」です。こちらは、川越消防署名細分署及び川島消防署に配備されております高規格救急自動車、著しく老朽化しているため更新するものです。

議案第9号は「高度救急処置資機材の取得について」です。こちらは、川越西消防署名細分署及び川島消防署に配備されております高規格救急自動車2台の更新にあわせまして、高規格救急自動車に積載する資機材を更新するものです。

採決の結果、すべての議案が原案どおり議決されましたことをご報告いたします。

(飯野)

埼玉中部資源循環 組合議会

小高 春雄
山田 敏夫

去る8月9日吉見町議場において開催された、中部資源循環組合議会定例会の報告を致します。

上程された議案は、議案第6号、議案第7号、議案第8号の3件です。

議案第6号の「埼玉中部資源循環組合個人情報保護条例の一部を改正する条例制定については個人情報保護の定義を明確化するために条例に所要の改正が必要のため一部を改正するものです。

議案第7号の「平成30年度一般会計補正予算(第1号)」は繰越金の確定に伴い、500万5千円を追加し、予算の総額を8億6902万5千円とするものです。

次に議案第8号の「平成29年度一般会計歳入歳出決算」は、歳入決算額を5億632万938円とするものです。

採決の結果、すべての議案が原案どおり議決されましたことをご報告いたします。

(小高)

比企広域市町村圏 組合議会

森田 敏男
道祖土 証

第3回比企広域市町村圏組合議会定例会が8月10日に開催されました。本町の加盟していない消防特別会計は省略いたします。

議案第20号請負契約の締結については東松山斎場建設工事を18億8460万円で松井建設(株)関東営業所に決定するものです。

議案第21号平成30年度一般会計補正予算書(第1号)は総額を8030万5千円とするものです。

議案第23号平成30年度斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計補正予算書(第1号)は総額を3億6328万1千円とするものです。

議案第24号平成30年度介護認定及び障害支援区分審査特別会計補正予算書(第1号)は総額を7104万8千円とするものです。

議案第25号平成30年度公平委員会特別会計補正予算書(第1号)は総額を63万円とするものです。

議案第26号平成29年度一般会計歳入歳出決算書は、収入済額771万5047円、支出済額7245万9746円、歳入歳出差引額625万5301円です。

議案第28号、議案第30号までは「斎場及び霊きゅう自動車事業特別会計歳入歳出決算書」「介護認定及び障害支援区分審査特別会計」「公平委員会特別会計」の3つの特別会計は平成29年度決算認定です。

採決の結果全議案とも異議なく原案通り可決されました。

(道祖土)

総務経済建設常任委員会 所管事務調査

・ 6次産業化事業について ・ 防災に対する取り組みについて

平成30年7月19日(木)喜多方市
平成30年7月20日(金)郡山市

6次産業化事業について

喜多方市は地域農産物を生かした商品開発や販路拡大などの6次産業化を図るため、専門家派遣制度を実施しています。相談窓口として、地域産業6次化サポートセンターの設置、新商品の開発、販売戦略の構築、販路拡大など農林水産物の6次産業化に関する相談に応じ、当センターから専門員を派遣しています。また、市独自の取り組みとして、「アグリチャレンジ支援事業」や「喜多方市6次産業化サポーター事業」を実施し、農業者等の新商品開発や販売販路を



郡山市での研修

支援しています。平成19年度から平成29年度までに、ナツハセ・ガマズミを活用した飴やサイダー、米粉を活用した餃子、落花生を活用したスイーツ、3種類の西洋梨を活用したジュース等、33件の取り組みを支援し、市内外で継続して売れる商品も生まれてきています。喜多方市では、蔵元も多く、生産者団体と蔵元が結びつき、本市で生産されている酒造好適米の約5割が、加工用米の約7割がかけ米として市内の蔵元で消費され、国内外で評価が高い酒造りに寄与しています。この他、小麦や大豆についても地元の製麺業者や醤油製造業者を中心に需要拡大を図っています。

防災に対する取り組みについて

郡山市の災害の特徴として「阿武隈川の洪水」、「多雨による内水の被害」、「安達太良山の噴火」、「湖南地区の豪雪」が挙げられ、災害対策基本法の規定に基づき、被害を最小化する「減災」の考え方に立ち、市防災会議が郡山市地域防災計画を策定し活動しています。

また、2011年の東日本大震災を教訓に「自分たちの地域は自分で守る」という精神の基で、地域の皆さんが自主的に防災組織を立ち上げ、現在42の団体が活動を行っています。災害時は、消防や行政がすぐに対応できないため、地域の皆さんで協力して行っています。行政も過去の災害復旧活動を生かし、各組織に必要な物資の供給や今後の活動について相談し、連携を図っています。課題としては、当初自主的に立ち上げた市民が高齢化し、後継者がいなくなっているのが現状です。また、郡山市では、災害対応部局の職員が参集し、災害対応を行う災害対策室を平成27年度に常設で設置しています。災害対策として、災害応援協定を117の団体と結ぶ、災害の知識と防災対策に関する出前講座の実施、市民防災リーダー養成講座の開催、自主防災組織の組織化などを実施しています。

所管事務調査を終えて

委員長 飯野 徹也

川島町でも平成29年3月に「川島町6次産業化戦略」を策定し、平成29年度に4品目を開発しています。また、KJブランドとして6次産業化品目を含めた21品目が認定されました。今後、付加価値を加えた商品の開発や販売販路の拡大など、具体性のある取り組みが必要であると考えます。

また、防災については、一人ひとりが日頃から防災に対する備えを怠ることのない意識を持つてもらうよう、行政が定期的な対策を実施すべきと考えます。町では自主防災組織も立ち上がり軌道に乗ってきていますが、組織のあり方、運営についてさらなる検討が必要と考えます。

文教厚生常任委員会 所管事務調査

・子ども一貫教育について ・英語教育の推進について

平成30年7月10日(水) 糸魚川市
平成30年7月11日(木) 金沢市

子ども一貫教育について

糸魚川市の教育についてですが、成長の時期に応じ連続性を重視した教育、家庭、地域、園、学校がそれぞれの役割を果たした交流、連携をとり、市民総ぐるみで子育てを行う「0歳から18歳までの子ども一貫教育方針」を平成21年度に策定、①心・健康・学力のバランスのとれた子どもを育てる。②一人ひとりの個性を生かしてその能力を伸ばし、子どもの夢を育てる。③ふるさと糸魚川をよく知り、郷土を愛する子どもを育てる。④家庭、地域、園、学校が力を合わせて糸魚川の子どもを育てる。を基本理念に平成26年度まで実施してきました。その成果、課題を基に平成27年度に「子ども一貫教育基本計画」を策定し、平成28年度から平成31年度までを前期取り組みとして実施しています。

これまでの取り組みの成果としては、①知・徳・体のバランスのとれた子どもたちを育てる活動が進んでいる。②「朝食を毎日食べている」割合が、小学生・中学生共に全

国平均よりも高く健康的な子どもたちを育てている。③「学校へ行くのが楽しい」割合が小学生・中学生共に全国的に高く健全な学校生活を推進している。④地域の行事に参加する子どもの割合が全国平均よりも高く、社会人になっても郷土愛を忘れない豊かな子どもたちが育っている。

英語教育の推進について

金沢市では、世界都市金沢構想で世界へ金沢市の歴史・文化を英語で発信できるようにするため、平成8年より小学校での英語活動に取り組み、平成16年3月に「世界都市金沢 小中一貫英語教育特区」に認定され、同年4月から小中一貫英語教育を全市立小中学校で行ってきました。

小学校での指導体制では、①1年生から6年生で週に一回以上15分程度のショートタイムによる英語指導の実施。②3年生から6年生で標準指導時間数35時間以上の英語科授業を実施。中学校では、①週4時間の必須英語の実施。②全学年に習熟の程度に応じた指導を充実させ

るため、補充・発展の2コースの選択英語を開設しています。また、金沢版中学校英語副読本を活用し、金沢の歴史や文化を発信できる英語力の習得を目指した指導を行っています。成果として、小学校6年生の全児童を対象に児童英検ジュニアの中のシルバーを受験し、8割程度が合格しております。中学校では、3年生を対象に英語能力検定テストを実施し、6割が3級以上とのことです。また、登下校において外国人と積極的会話している等が目につくとのことです。



糸魚川市での研修

所管事務調査を終えて

委員長 新井 悦子

糸魚川市では子育て・教育の一本化により地域、家庭を交えて市民全体で子育てを行っていることに感銘しました。これにより、子どもたちが地元愛を持ち健やかに成長していく姿が見受けられました。本町は、子育て支援と教育委員会に分かれているため支援を受けやすい体制にしていくことが重要と考えます。

英語教育については、小学校から英語教育に慣れ親しむことが非常に重要と考えます。町でも、生きた英語力を学び身につけるために、これまで以上に英語教育を推進していくことが必要と考えます。

議会日誌

8月

29日 議会運営委員会
議会全員協議会

9月

2日 川島町防災訓練

5日～19日 9月定例会

19日 議会全員協議会
議会報編集委員会

22日 つばさ南・つばさ北小学校運動会
中山・伊草小学校運動会

10月

1日 名誉市民推挙式

3日 議会報編集委員会

9日 議会報編集委員会

17日 埼玉県町村議会議員研修会

25日～26日 議会運営委員会行政視察

学校跡地等活用調査特別委員会

視察先	活用例
あしがくぼ笑楽校 (埼玉県横瀬町 旧芦ヶ久保小学校)	レンタルスペース
鳩山町多世代活動交流センター (埼玉県鳩山町 旧松栄小学校)	多目的複合施設

学校跡地等活用調査特別委員会では、旧出丸小学校・旧小見野小学校の跡地活用を検討していくうえで、埼玉県内の廃校の活用事例を8月23日に視察してきました。今後このような事例を参考に町へ提言をしてまいります。



表紙解説

9月22日、中山小学校の運動会が行われました。

心配していた雨も上がり、先生や保護者の方々のご努力により運動場がきれいに整備されました。

徒競走は1年生から6年生まで50メートル走に変更されましたが、その他はほとんどプログラム通りに進行され、天気も徐々に回復に向かいました。

応援団の一生懸命な姿、組体操のきびきびとした美しさ、リレー選手たちの真剣さ。紅組も白組も全力で取り組んだ素晴らしい運動会でした。

(写真・文章／稲村)

次回12月の定例会

11月30日(金)

開会予定です。

編集後記

今年の秋は、台風と秋雨前線の影響で、雨が続いていました。町内各地で予定されていた運動会などの行事も、延期を余儀なくされた事例もありました。当日までに、多くのかたのご協力で準備を万端に整えていたものの、天候に逆らう事はできず、残念がる声がたくさんあがっていました。

全国各地では、台風による甚大な被害が発生しました。川に囲まれている当町では、常に水害と隣り合わせです。たまたま今年は、大きな被害はありませんでしたが、明日は我が身と言う気持ちで水害に備える必要があると思います。

ひとりひとりが、日頃から、いざと言う時の行動計画を考えておく事が大切です。

(松原)

議会報編集委員会

委員長 爲水順二
副委員長 栗山輝治
委員 小峰松代
委員 稲村美子
相談役 森田敏男